

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	文化人権推進課担当課長 高橋 謙司	
経企-24 鎌倉芸術館管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	文化人権推進課
総合計画上の位置付け		分野	文化	施策の方針
				文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を発揮できるよう指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行うとともに、施設・設備の修繕実施により予防保全を図るため。
効果	指定管理者制度導入により施設の利用貸し出し、鑑賞機会の提供や施設の維持管理など芸術館の一体的管理に基づく効率的な運営を図り、予防保全により施設・設備の良好な維持を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営業務を指定管理者へ委託するほか、芸術館用地の賃借などの業務を行った。 芸術館の舞台設備及び空調設備等について、予防保全等のための修繕を実施した。 芸術館の大規模修繕等を行うため、PFI事業の導入に向けた業務を行ったが、導入には至らなかった。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	373,985	303,976		当初予算(千円)	328,232		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債	50,000			地方債			
	その他	5,338	4,875		その他	3,175		
	一般財源	318,647	299,101		一般財源	325,057		
	人員配置数	1.8	2.7		人員配置数	2.7		
事業経費	人件費(千円)	14,419	20,511		人件費(千円)	20,969		
	総事業費(千円)	388,404	324,487		総事業費(千円)	349,201		
	市民1人当りの経費(円)	2,189	1,831		市民1人当りの経費(円)	1,974		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		指定管理者制度により引き続き芸術館の効率的な管理運営を行う。PFI事業の導入による大規模修繕の実施を進めていたが、PFI事業への応募がなかったため、大規模修繕の手法を見直す。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 大規模修繕を実施するため事業費は増加するが、修繕後は設備等の更新により光熱水費の削減が期待できる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費については、指定管理料、維持修繕費、負担金等削減の可能性があるので、「削減余地」を「ある」とした。鎌倉の芸術文化発信拠点として、例年50万人以上の利用者があるなど市民ニーズが認められることから、芸術館の「廃止・休止」による「影響は大きくある」とした。また「事業の上位施策に向けた貢献度」は、施設の適切な維持管理と運営を継続的に進めていることから、「事業の方向性や手法は概ね適切」であるとした。今後も計画的な修繕を実施する必要があり、施設の維持管理及び運営には多額の経費が掛かることから受益者負担については引き続き検討する必要がある。協働については、鎌倉の芸術文化の発信拠点として市民ニーズを捉えながら持続的且つ適切な運営を図るため、市民とどのような協働方法があるか等を検討していく必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業のための業務支援を受け、事業の方針を検討していく必要がある。 ・利用頻度の高い備品については、PFI事業に併せて修繕、購入等の検討をする必要がある。 ・公正性・公平性を高めるため、学識経験者等、外部の委員による評価制度について検討する必要がある。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業の導入をするための民間事業者の支援を受けながら、PFI事業を進めた。 ・緊急度を見極めながら、計画的に必要な修繕を行った。 ・外部の委員による評価方法を検討した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業を進めたが、PFI事業への応募がなかったことから手法を再検討し大規模修繕を進める必要がある。 ・利用頻度の高い備品について、市が修繕、購入等の検討をする必要がある。 ・公正性・公平性を高めるため、学識経験者等、外部の委員による評価制度について更に検討する必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	施設利用率							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市		
他市実績	目標85%							
	実績88.0%	実績80.6%(大H)	実績89.3%(大H)	H27.4~ホールのみ耐震体館	実績74.8%(大H)	実績70.1%(大H)		
比較事項	利用者年間数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市		
他市実績	目標500,000人							
	実績530,776人	実績344,503人	実績221,046人	実績53,068人	実績141,885人	実績232,398人		
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を十分に発揮できているか確認するため、同種同規模の施設と比較確認を行った。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	施設利用率	単位	%	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を十分に発揮できるようにするため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績値	90.5	88.0				
	達成率	106.5%	103.5%				
指標の内容	年間利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を十分に発揮できるようにするため。	目標値	600,000.0	500,000.0	500,000.0	500,000.0	500,000.0	500,000.0
	実績値	520,406.0	530,776.0				
	達成率	86.7%	106.2%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	指標の「年間利用者数」は必ずしも施設利用率の上昇に比例したものではないので、平成27年度から目標値を一定にし、毎年度目標値以上の施設利用率・年間利用者数を目指すこととする。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---